

令和4年度 事業報告及び決算報告

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社

事業報告 第7期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1. 事業概要

- ・第1期（平成29年1月5日～平成29年3月31日）
未稼働
- ・第2期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）
実稼働の初年度で通年みやまスマートエネルギー株式会社の取次店としての稼働。
純売上高 8,126 千円（掛売上 100,516 千円）・当期純損失 7,526 千円の損失。
- ・第3期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
5月1日から小売電気事業を開始。純売上高 190,715 千円・当期純利益 6,916 千円。
- ・第4期（平成31年4月1日～令和2年3月31日）
純売上高 277,772 千円・当期純利益 17,858 千円。
- ・第5期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
該当年度12月から1月にかけての、電力卸取引市場の大幅な高騰が発生。
純売上高 294,229 千円・税引前当期損益 △15,753 千円。
- ・第6期（令和3年4月1日～令和4年3月31日）
純売上高 383,352 千円・税引前当期利益 13,134 千円。

当第7期につきましては、業界全体が大きく動いた1年となりました。日本卸電力取引所（以下：JEPX）単価が、令和2年12月から令和3年1月までの大幅に高騰したことに加え、令和3年度の下期が高止まりしていたことから、大手新電力会社の倒産・撤退が相次ぎました。

鹿児島県内においても、九州でかなりの供給シェアを持っていた株式会社ナンワエナジーが、高圧を4月末で・低圧を6月末で供給を停止しました。JEPXの単価上昇のリスクがあるため、九州電力株式会社を始めどの新電力会社も新規契約を停止していた状況もあり、電力難民と呼ばれる電力小売契約ができない需要家が多数出てきました。

当社としましては、地域の経済を守ることも会社の方針と考え、前出のような需要家のうち当社で供給できそうな需要家に対して、お互いにリスクを持つ形で小売契約を行いました。具体的には、基本料金は極力抑えめにし、電力供給単価はJEPXが高止まりしていた令和3年度下期の市場単価をベースに高めに設定させていただくという契約内容です。需要家にとっても、九州電力送配電株式会社の最終保証供給と比べ安価となるため、お互いにメリットのある契約となりました。これにより、計40件・約2,950kWの契約増となりました。

結果、令和4年度のJEPX単価は、令和3年度ほど上昇せず当社としては大幅な利益増に繋がりました。

また、前年度同様家庭向け太陽光実質無料設置の推進を行いました。蓄電池を併設する株式会社エクソルとの協働スキーム（以下：Re・リーフプラン）にて、新規申込は受けませんでした。前年度以前のお申込分の設置・契約等を進め、24件・約280kWのパネル容量の設置を行いました。

2. 事業経過及び成果

○電力販売事業

前出の通り、JEPX 単価高騰を懸念し積極的な営業活動は控えておりましたが、他社新電力の撤退などにより需要家から相談を受ける形で契約の検討を行い、第7期の電力切替供給承諾の実績としましては、135件・契約容量 4,630kW となりました。その結果、令和5年3月末時点での電力供給量は、高圧 88 施設・6,911kW、低圧 1,199 施設・11,022kW、総計 1,287 施設・17,933kW となりました。

○発電に関する事業

数年前から実施していた太陽光発電実質無料設置サービスは、リースモデル・第3者所有モデル（PPA モデル）いずれにせよ初期費用の負担が大きく、第7期は新規の受付は行いませんでしたが、前年度からの申し込みを受け付けていた Re・リーフプランの設置・契約を中心に行い、24件 280kW のパネルを設置しました。これにより PPA ならびにリースモデル含め、当社の太陽光パネル総設置量は、909kW となりました。

その他、初期費用を負担していただく形での太陽光発電設備の販売を目標としておりましたが、世界的な半導体不足により、設備更新・改造に必要な部品の調達が難しく、提案・販売することができませんでした。

○電気通信事業

第7期の新規の契約は8件あり、計37件の契約となりました。

○経営状況

第7期の決算としましては、純売上高 521,088 千円・税引前当期利益 49,376 千円（前期実績 純売上高 383,352 千円・税引前当期損益 13,134 千円）の決算となりました。

電力の販売についてですが、世界的なエネルギーコストの上昇リスク等を考慮し、積極的な営業は控えておりましたが、前出の事由等により他社新電力等からの電力切替を受け付けたことにより、契約容量は年度初めの 14,470kW から 17,933kW へ大幅増となりました。

次に電力の仕入れについてですが、これまでと変わらず当社の電源調達先は主に九州電力株式会社と JEPX となっております。九州電力株式会社からの調達に関しては決められた単価での取引ですが、JEPX からの調達は全国或いは九州エリアの需要量と供給量によって、30分ごとに決定します。特に供給量というところでは、日本の電力はまだ7割が火力発電に頼っていることもあり、JEPX の単価は化石燃料の輸入レート等に大きく影響を受けます。令和3年度の JEPX 単価は特に秋口から高止まりした状況が続いており、化石燃料の先物取引市場も世界的にも落ち着く傾向が見えなかったため、JEPX の高止まりは令和4年度も継続されるものと予想しておりましたが、7月以降徐々に単価が下がり始め、前年度比△5円/kWh 程度で落ち着き推移しました。

この JEPX 単価は、電力の全面自由化に伴い新電力会社が乱立した 2016～2018 年頃ほど安価ではないものの、小売電気事業として利益を残すには十分な単価となっており、かつ他社新電力の撤退により供給単価を上げた契約を大幅に増やしたことにより、過去最高収益を上げる要因となりました。

決 算 報 告 書

(第 7 期)

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社
[法人番号 : 4340001019968]
肝属郡肝付町新富 9 8 番地

貸 借 対 照 表

令和 5 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 193,304,309】	【流動負債】	【 89,023,374】
現金及び預金	21,307,186	買掛金	28,572,073
売掛金	140,649,009	短期借入金	30,000,000
仕掛品	12,922,650	未払金	15,522,420
貯蔵品	12,966	預り金	136,181
未収入金	17,049,418	未払法人税等	9,515,600
前払費用	2,483,080	未払消費税等	5,277,100
貸倒引当金	△1,120,000	【固定負債】	【 191,303,705】
【固定資産】	【 156,810,736】	長期借入金	174,028,000
(有形固定資産)	(135,015,379)	リース債務	17,275,705
建物	26,566,277		
附属設備	6,066,034	負債の部合計	280,327,079
構築物	2,878,750	純資産の部	
機械装置	77,030,046		
車両運搬具	266,648	【株主資本】	【 69,787,966】
工具器具備品	3	(資本金)	(20,000,000)
土地	5,210,000	資本金	20,000,000
リース資産	16,997,621	(資本剰余金)	(△3,052,500)
(無形固定資産)	(1,947,001)	自己株式	△3,052,500
ソフトウェア	1,947,001	(利益剰余金)	(52,840,466)
(投資等)	(19,848,356)	繰越利益剰余金	52,840,466
出資金	500,000		
投資有価証券	100,000	純資産の部合計	69,787,966
差入保証金	1,803,844		
預託金	8,718,680	負債及び純資産の部合計	350,115,045
保険積立金	8,725,832		
資産の部合計	350,115,045		

損 益 計 算 書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
売上高（電力）	506,947,577	
売上高（通信）	2,259,627	
売上高（PPA）	4,842,813	
売上高（エネ未来+）	26,141,462	
売上値引高	△19,103,132	521,088,347
【売 上 原 価】		
仕 入 高	422,094,264	
合 計	(422,094,264)	422,094,264
売上総利益		(98,994,083)
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	6,500,000	
給料手当	14,859,232	
賞与手当	4,195,500	
法定福利費	4,002,299	
福利厚生費	939,489	
広告宣伝費	2,822,024	
旅費交通費	707,195	
車両費	29,000	
通信費	1,000,841	
水道光熱費	63,681	
租税公課	358,801	
交際費	391,693	
消耗品費	726,353	
保険料	693,886	
支払手数料	3,997,857	
減価償却費	11,833,311	
貸倒引当金繰入額	1,120,000	
諸会費	609,000	
販売促進費	271,417	
業務委託費	387,655	
寄付金	3,200,000	
採用教育費	149,322	
システム利用料	5,759,049	
新聞図書費	5,059	
節電プログラム促進事業費	4,400,000	
雑費	32,728	69,055,392
営業利益		(29,938,691)
【営業外収益】		
受取利息	217	
受取配当金	5,000	
雑収入	23,889,736	23,894,953

科 目		金	額
			円
【営業外費用】			
支払利息		4,659,460	
支払保証料		460,538	5,119,998
	経常利益		(48,713,646)
【特別利益】			
貸倒引当金戻入額		661,944	661,944
	税引前当期利益		(49,375,590)
	法人税等		9,821,947
	法人税等充当額		9,821,947
	当期純利益		(39,553,643)

株主資本等変動計算書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

(単位 円)

株主資本			
資本金	当期首残高及び当期末残高		20,000,000
資本剰余金			
自己株式	当期首残高及び当期末残高		△3,052,500
利益剰余金			
その他資本剰余金			
繰越利益剰余金	当期首残高		13,286,823
	当期変動額	当期純損益金	39,553,643
	当期末残高		52,840,466
利益剰余金	当期首残高		13,286,823
	当期変動額		39,553,643
	当期末残高		52,840,466
株主資本	当期首残高		30,234,323
	当期変動額		39,553,643
	当期末残高		69,787,966
純資産の部	当期首残高		30,234,323
	当期変動額		39,553,643
	当期末残高		69,787,966

個 別 注 記 表

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

- I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
1. 資産の評価基準及び評価方法
 - ① 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法を採用しています。
 2. 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産
定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備・構築物は定額法）を採用しています。
 - ② 無形固定資産
定額法を採用しています。
 3. 収益及び費用の計上基準
発生主義によっています。
 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - ① 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。
 5. 貸借対照表に関する注記
 - ①. 有形固定資産の減価償却累計額 20,078,023円
- III. 株主資本等変動計算書に関する注記
1. 当該事業年度の末日における発行済株式の数 2,000株

上記の通りご報告申し上げます。

令和 5 年 5 月 26 日

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社

代表取締役 村上 博紀

取締役 永野 和行

取締役 向井 和郎

令和5年度 事業計画及び収支計画

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

おおすみ半島スマートエネルギー株式会社

事業計画

まず電力販売事業についてですが、一時期の JEPX 単価の高止まりは収まったものの、世界的なエネルギー価格の高騰はまだまだ予断を許さず、今後再び JEPX 単価が高騰する可能性もありうるため、引き続き積極的な営業活動は控えていきたいと考えておりますが、他自治体との協調は強化していきたいと思っております。現在公共施設への電力供給は、肝付町ならびに錦江町の 2 町ですが、大隅半島の他の自治体へも、電力供給だけではなく脱炭素への取組も踏まえ、協調いただけるようにアプローチをかけていきたいと思っております。

次に発電事業についてですが、家庭向けの太陽光実質無料設置事業については、事業を推進する上で初期費用の調達に大きな負担がかかることから、引き続き事業実施は控えます。今年度も前年度同様、初期費用を負担していただく形での太陽光発電設備の販売を推進していく予定ですが、相変わらず設備改造に必要な部品不足が続いていることから、今年度は高圧施設への提案ではなく、低圧施設への提案を中心に推進します。また営農型太陽光発電設備（ソーラーシェアリング）の設置スキームを整え、農家の方々への提案・設置を行い、地域の特徴を活かした発電事業への展開も行いたいと考えています。現在は電力の調達に於いて JEPX からの調達割合が高く、JEPX の単価が少なからず経営に影響を及ぼしておりますが、このような発電事業に携わることで、少しでも JEPX からの調達割合を減らし、電力調達におけるリスクヘッジにしたいと考えています。

最後に、当社は実質の会社運営を開始して丸 6 年が経過しました。小売電気事業や電気通信事業に関してはある程度落ち着いた事業運営ができておりますが、会社の存在意義・存在価値をさらに高めることが、今後持続可能な会社経営を行う上で必要であると感じております。そのために、現在ご契約いただいている需要家の方々とさらに良好な関係を築くとともに、電力の供給だけではなく地域の方々の抱えるさまざまな地域課題の解決も行えるような会社へと成長・発展していきたいと考えております。

令和5年度 おおすみ半島スマートエネルギー株式会社収支計画

		4月	5月	6月	第1Q計	7月	8月	9月	第2Q計
契約容量	高圧	kW 7,805	kW 7,805	kW 7,901		kW 7,901	kW 7,901	kW 7,901	
	低圧	10,988	10,988	10,988		10,988	10,988	10,988	
	計	18,793	18,793	18,889		18,889	18,889	18,889	
売上	高圧	千円 18,750	千円 18,562	千円 21,038	千円 58,350	千円 24,327	千円 24,493	千円 22,223	千円 71,043
	低圧	16,403	15,065	16,786	48,254	18,498	23,023	22,890	64,411
	計	35,153	33,627	37,824	106,604	42,825	47,516	45,113	135,454
仕入	調達	千円 18,524	千円 16,383	千円 21,342	千円 56,249	千円 21,499	千円 23,215	千円 21,330	千円 66,044
	託送料	13,154	12,829	13,582	39,565	14,895	16,082	15,273	46,250
	計	31,678	29,212	34,924	95,814	36,394	39,297	36,603	112,294
売上総利益		3,475	4,415	2,900	10,790	6,431	8,219	8,510	23,160
人件費		1,802	1,802	1,802	5,406	4,154	1,802	1,802	7,758
販売管理費		2,033	2,255	2,091	6,379	2,033	2,271	1,656	5,960
営業利益		▲ 360	358	▲ 993	▲ 995	244	4,146	5,052	9,442

		10月	11月	12月	第3Q計	1月	2月	3月	第4Q計	年度計
契約容量	高圧	kW 7,901	kW 7,901	kW 7,901		kW 7,901	kW 7,901	kW 7,901		
	低圧	10,988	10,988	10,988		10,988	10,988	10,988		
	計	18,889	18,889	18,889		18,889	18,889	18,889		
売上	高圧	千円 19,831	千円 17,986	千円 20,488	千円 58,305	千円 20,758	千円 19,785	千円 18,587	千円 59,130	千円 246,828
	低圧	20,197	18,404	19,681	58,282	21,926	25,392	16,571	63,889	234,836
	計	40,028	36,390	40,169	116,587	42,684	45,177	35,158	123,019	481,664
仕入	調達	千円 20,050	千円 15,996	千円 25,422	千円 61,468	千円 22,166	千円 18,591	千円 13,658	千円 54,415	千円 238,176
	託送料	14,355	13,391	14,012	41,758	14,818	15,132	14,001	43,951	171,524
	計	34,405	29,387	39,434	103,226	36,984	33,723	27,659	98,366	409,700
売上総利益		5,623	7,003	735	13,361	5,700	11,454	7,499	24,653	71,964
人件費		2,060	2,060	4,750	8,870	2,060	2,060	2,060	6,180	28,214
販売管理費		2,580	2,652	2,625	7,857	1,647	1,647	1,852	5,146	25,342
営業利益		983	2,291	▲ 6,640	▲ 3,366	1,993	7,747	3,587	13,327	18,408